

日本動物実験代替法学会第20回大会

The 20th Annual Meeting of JSAAE

<http://www.soc.nii.ac.jp/jsaae/>

会期

平成18年12月8日(金)・9日(土)

会場

東京大学・駒場IIキャンパス
総合研究実験棟 (An棟)

(<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/map/index.html>)

参加費

会員：7,000円、非会員：9,000円、学生：2,000円

プログラム

12月8日 第一日目

9:00～11:30 シンポジウム1「アジアにおける動物実験と3Rs」

「3Rの原則に基づく動物実験の洗練」

・ 鍵山直子、野村達次 (実験動物中央研究所)

「3Rs in India: Past, Present, and Future」

M. S. Dhingra (Government Med. College, India)

「Current Status of 3Rs in China」

H. Zhengming 氏 (Lab. Animal Center, China, 他)

「Current Status of Alternative Study in NITR (National Institute of Toxicological Research)」

P. Kuilea (KFDA, Korea)

11:30～12:30 日本動物実験代替法学会評議会

12:30～13:30 特別講演

「ECVAM'S Role in Making Alternative Methods Available for New European Legislation」

T. Hartung (ECVAM)

13:30～15:30 ポスターセッション

15:30～18:00 特別企画1「動物実験代替法に関する最近の国内外の動向」

「代替法を巡るUSAの状況について」

L. M. Schechtman (US-FDA, USA)

「適産省NEDOのプロジェクト紹介」

田中憲穂 (食薬センター)

「国内において現在進行中の評価試験プロジェクトの紹介」

小島 肇 (JaCVAM)

「経済産業省の化学物質安全対策への取り組み」

講演者交渉中

「厚生労働省の取り組み」

講演者交渉中

18:30～20:00 懇親会

12月9日 第二日目

9:00～11:30 シンポジウム2「代替法における新技術の可能性」

「体内細胞応答を外挿する培養モデルの開発」

竹澤俊明 (独) 農業生物資源研究所

「パターン化マイクロティッシュ培養法」

大塚英典 (東京理科大学)

「ヒト間葉系幹細胞から分化誘導した肝細胞の機能解析」

落谷孝広 (国立がんセンター研究所)

「創薬初期段階における *in vitro* 及び *in silico* Phospholipidosis Assay の応用」

山田 弘、宮澤香織、堀井郁夫 (ファイザー (株))

「コンピュータプログラムを用いたシミュレーションによる薬物間相互作用の定量的予測」

設楽悦久 (千葉大学他)

12:00～13:00 ランチョンシンポジウム

「ナノバイオ動物代替デバイスによるライフケア製品の評価と開発」

民谷栄一 (北陸先端科学技術大学院大学)

13:00～14:00 日本動物実験代替法学会総会

15:00～17:00 特別企画2 (ノエビア協賛)

「教育現場における3Rに対する新たな取り組み」

— 第一回動物実験代替法チャレンジコンテスト —

* 特別企画2のみ参加費無料

連絡先

〒153-8505

東京都目黒区駒場4-6-1-Fe503
物質環境系部門 酒井研究室内

Tel: 03-5452-6349, Fax: 03-5452-6353
e-mail: jsaae20@iis.u-tokyo.ac.jp

